

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2005-222627 (P2005-222627A)
 【公開日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-032
 【出願番号】特願 2004-30099 (P2004-30099)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 1 1 B 20/12 (2006.01)

H 0 4 N 5/85 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/10 3 1 1

G 1 1 B 20/12

H 0 4 N 5/85 Z

H 0 4 N 5/91 E

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 26 日 (2007.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変長の文字列情報を記録するデータの記録方法であって、
 記録する記録データは、
 文字列情報の表示時刻開始時刻を示す表示開始時刻情報と、
 文字列情報の表示期間を示す表示期間情報と、
 文字列情報と、
 無効データとを含み、

上記無効データのバイト数は、上記記録データが所定バイト数の整数倍になるように付加することを特徴とするデータ記録方法。

【請求項 2】

可変長の文字列情報を記録するデータの記録方法であって、
 記録する記録データは、
 文字列情報の表示時刻開始時刻を示す表示開始時刻情報と、
 文字列情報の表示期間を示す表示期間情報と、
 文字列情報の長さを示す文字列長さ情報と、
 文字列情報と、
 無効データとを含み、

上記無効データのバイト数は、上記記録データが所定バイト数の整数倍になるように付加することを特徴とするデータ記録方法。

【請求項 3】

請求項 1 ないし請求項 2 に記載のデータ記録方法であって、

上記データのデータ長は、192 バイトの整数倍であることを特徴とするデータ記録方法。

【請求項 4】

情報を記録する記録媒体であって、

請求項 1 ないし請求項 2 ないし請求項 3 に記載のデータ記録方法によりデータが記録されていることを特徴とする記録媒体。

【請求項 5】

記録媒体から情報を再生する再生装置であって、

請求項 4 に記載の記録媒体を再生することを特徴とする再生装置。

【請求項 6】

可変長の文字列情報を記録するデータの記録方法であって、

記録する記録データは、

文字列情報の表示時刻開始時刻を示す表示開始時刻情報を含むことを特徴とするデータ記録方法。